



平成29年度 文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産総合活用推進事業)

文化庁



平清盛公生誕900年記念シンポジウム

厳島神社と日本文化の源流

厳島神社の信仰・景観・歴史は
日本の文化とどのように関わってきたのか

2018年 **3/27** (火) 開場13:00 開演13:30

はつかいち文化ホールさくらぴあ 小ホール

基調講演 中西 進 (国文学者)

シンポジウム 中西 進
福田道憲 (厳島神社禰宜)
秋山仲隆 (県立広島大学人間文化学部教授)
モデレーター 柴田英杞 (文化庁文化審議会文化政策部会委員)

参加無料

※事前申込による聴講券が必要です(お申し込み方法は裏面をご覧ください)

[主催] 世界遺産「厳島神社」を活用した地域活性化プロジェクト実行委員会 [共催] 平清盛記念事業実行委員会
[特別協力] 厳島神社 [協力] 一般社団法人宮島観光協会 [企画制作] SAP



厳島神社と日本文化の源流

1996年に世界文化遺産に登録されて以来、日本人観光客のみならず外国人観光客も多く訪れている厳島神社。平安時代末期の日本独自の建築様式を現在まで継承している貴重な文化遺産であり、海上に建てられた社殿と背景の山容が一体となった景観は日本人独特の精神文化を表した宗教的空間でもあります。また、平清盛による「平家納経」をはじめ数多くの貴重な美術工芸品が奉納されてきたことでも知られており、日本の文化、日本人の精神性に大きな影響を与えてきました。

このシンポジウムでは、そのような厳島神社の信仰と歴史を考えながら日本文化との関わりを探ります。



中西進

1929年東京都生まれ。東京大学大学院修了。文学博士。2004年文化功労者、2013年文化勲章受章。『万葉集』など古代文学の比較研究を主に、日本文化の研究・評論活動で知られる。大阪女子大学学長、京都市立芸術大学学長などをつとめ、現在、奈良県立万葉文化館名誉館長、高志の国文学館館長、一般社団法人日本学基金理事長。主な著書に「中西進日本文化を読む」(全6巻、小沢書店)『中西進万葉論集』(全8巻、講談社)『こころの日本文化史』(岩波書店)など多数。



福田道憲

1942年宮島町生まれ。

国学院大学神道学科を卒業後、熊野那智大社に5年間奉職。1971年から厳島神社に奉職。



秋山伸隆

1953年生まれ。広島大学で日本史を学ぶ。文学博士。

広島大学、広島文化女子短期大学、広島女子大学を経て県立広島大学教授。2017年3月まで宮島学センター長を兼務。日本中世史、とくに戦国大名毛利氏と中国地方の地域史を研究。主な著書に「戦国大名毛利氏の研究」。



柴田英紀

横浜市生。政策研究大学院大学政策研究科文化政策プログラム修了。文化庁文化審議会第14期文化政策部会委員。(独)日本芸術文化振興会プログラムオフィサー(演劇)。劇団俳優座演劇制作部を経て、平成7年度から、北海道、仙台、広島等の自治体や公共的団体等で演劇プロデューサーを務める。平成14年度から全国公募により、鳥取県文化振興財団文化芸術デザイナーとして8年間活動後、滋賀県の財団では芸術監督を歴任。平成17年度より、全国公立文化施設協会アドバイザーを務め、全国各地の劇場や音楽堂、自治体等に対して助言・アドバイスを行っている。

●聴講券お申し込み方法 …… 入場無料、要事前申込(先着/定員260名) 締切日2018年3月20日(火)必着

①代表者氏名②郵便番号・住所③電話番号④希望人数(4名様まで)を明記の上、必ず往復はがきで下記宛先までお申し込みください。

〒739-0505 広島県廿日市市宮島町1162-18 (一社)宮島観光協会 宛

※聴講券ははがきで返信します。



(注意事項とご案内)

お申込時にいただいた個人情報は、本シンポジウムのご案内のみに使用致します。

はつかいち文化ホールさくらびあ 小ホール
(広島県廿日市市下平良一丁目11-1)

アクセス

JR山陽本線「宮内串戸」駅 徒歩約15分
広電宮島線「廿日市市役所前」駅 徒歩約7分

※駐車場は市役所や図書館、美術ギャラリーなどと共用です。
駐車台数には限りがありますので公共交通機関をご利用いただきお越しください。

お問い合わせ

株式会社SAP
TEL:03-6912-0945(平日10時~18時)